

熊野水軍小山家文書の総合的研究

期間：2018年4月1日～2021年3月31日

〔代表者〕坂本亮太（和歌山県立博物館）

〔共同研究者〕

北野隆亮（和歌山市和歌山城整備企画課）

呉座勇一（国際日本文化研究センター）

佐藤純一（白浜町教育委員会）

白石博則（大阪府立貝塚南高等学校）

藺部寿樹（山形県立米沢女子短期大学）

高橋 修（茨城大学）

春田直紀（熊本大学大学院）

弓倉弘年（和歌山県立桐蔭高等学校）

関口博巨（日本常民文化研究所）

熊野の地域構造／地域間交流を考える

研究代表者 坂本 亮太

【共同研究の目的】

近年、これまで所在不明とされてきた紀州小山家文書の再発見が相次いでいる⁽¹⁾。そのため、小山家文書の整理と公開、さらには各小山家文書（二部・神宮寺・久木・西向）の集成と総合的な研究が求められている現状にある⁽²⁾。西向小山家文書を調査・公開した神奈川大学日本常民文化研究所が蓄積する成果も活用しながら⁽³⁾、近年現地で大きな成果があがっている城郭史・考古学と協業することで⁽⁴⁾、熊野水軍（紀南武士）の動態と紀伊半島・紀伊水道海域史を学際的に解明することが、本共同研究の大きな目的である。

【2019年度の活動および成果】

2019年度は、前年度に引き続き和歌山県立博物館が所蔵する久木小山家文書の原本調査を実施し、報告書掲載に向けての最終確認を行った。考古資料調査では、西之庄Ⅱ遺跡（和歌山市）の遺物の調査を継続して行い、終了の目処をつけることができた。また、熊野地域の石造物や城館跡の踏査を実施し、武士団を中心とする熊野の地域（社会）構造を理解するための基礎資料の収集も行うことができた。今年度は全体的に予定の調査が概ね順調に進んでいたこともあり、日置川流域の地域事例を相対化するうえで、古文書・遺跡・遺物等の比較調査に重点を移して調査を実施することができた。

なお、本年度は「軍記・語り物研究会」において、大会シンポジウム「紀南の海と中世の戦乱——熊野水軍と安宅氏・小山氏——」を行い、共同研究の中間報告を行った⁽⁵⁾。



写真1 徳島県埋蔵文化財センターでの遺物調査（2019年9月28日～30日）



写真2 沼島遠景（土生港より臨む）
（2020年1月11日～13日）



写真3 虎松山城跡の堀切（2020年3月7日～8日）

【今後の課題】

古文書や考古資料をはじめとした基礎資料の提示については、今回の共同研究・報告書で行うことができるだろう。ただし、近年特に熊野地域における発掘調査の進展は著しく、それらの成果を踏まえて、資料の集成と再検討をする時期もすぐに訪れるものと思われる。その点、本共同研究と調査成果報告書は不十分なものとならざるを得ないが、紀伊半島における交流・流通、さらには熊野の地域社会構造を考えるうえで、今後の研究の一里塚となれるよう報告書の作成を鋭意進めていきたい。



写真4 野長瀬一族・横矢一族の墓所調査(2020年2月21日~24日)

【注】

- (1) 坂本亮太「熊野水軍小山氏をめぐる資料」(『和歌山県立博物館研究紀要』22~24号、2016~2018年)。
- (2) 網野善彦『日本中世史料学の課題——系図・偽文書・文書——』(弘文堂、1996年)。
- (3) 神奈川大学日本常民文化研究所編『紀州小山家文書』(日本評論社、2005年)。
- (4) 日置川町史編さん委員会編『日置川町史』第1巻中世篇(2005年)、高橋修編『熊野水軍のさと 紀州安宅氏・小山氏の遺産』(清文堂、2009年)、白浜町教育委員会・安宅荘中世城郭群発掘調査委員会編『安宅荘中世城郭群総合調査報告書』(2014年)。
- (5) シンポジウムの内容を『軍記と語り物』56号(2020年)に掲載した。共同研究者のなかでは、呉座勇一氏が「中世熊野と戦乱——文学と歴史のあいだ——」、坂本が「シンポジウム趣旨説明」「熊野水軍と紀州小山家文書」「シンポジウム総括」、佐藤純一氏が「日置川流域と安宅氏城館跡」を寄稿している。

■ 2019年度の活動

- 鶴殿文書調査 2019年4月10日 西宮神社(兵庫県西宮市) 坂本亮太
- 共同研究者打合せ会議、2019年度第1回共同研究会 2019年6月17日 日本常民文化研究所 坂本亮太・北野隆亮・呉座勇一・佐藤純一・藪部寿樹・春田直紀・関口博巨・前田禎彦・全京秀・窪田涼子・越智信也
- 和歌山市立博物館所蔵林家文書調査 2019年6月28日~30日 和歌山市立博物館 藪部寿樹・坂本亮太
- シンポジウム「紀南の海と中世の戦乱——熊野水軍と安宅氏・小山氏——」開催・参加 2019年8月25日 和歌山県田辺市 坂本亮太・呉座勇一・佐藤純一(登壇者)、弓倉弘年(参加者・コメント)
- 「中国四国地区城館調査検討会・徳島大会」参加、徳島県内考古資料調査 2019年9月28日~30日 ポートレース鳴門、徳島県埋蔵文化財センター、勝瑞城跡 坂本亮太・北野隆亮・佐藤純一
- 熊野三山周辺地域の文書調査・現地踏査 2019年12月16日・17日 伏拝王子跡、大河内行宮址、熊野那智大社、那智勝浦町色川出張所など 坂本亮太・呉座勇一
- 淡路島南東岸域調査 2020年1月11日~13日 徳島市立徳島城博物館、沼島、洲本城、由良古城、論鶴羽神社など 坂本亮太
- 成果報告書・フォーラム打合せ、久木小山家文書調査 2020年1月24日~26日 和歌山県立博物館、勝山城跡、塩野薬師堂、長寿寺、大野城跡、春日神社、安宅本城跡など 坂本亮太・北野隆亮・呉座勇一・佐藤純一・白石博則・藪部寿樹・春田直紀
- 五島列島小値賀島資料調査・現地踏査 2020年2月6日~8日 小値賀町歴史民俗資料館、山見沖海底遺跡 北野隆亮
- 高知県沿岸部流通拠点現地踏査 2020年2月15日~17日 四万十市郷土博物館、香山寺、坂本遺跡、高知県立歴史民俗資料館、奈半利、コゴロク遺跡、最御崎寺、金剛頂寺、津照寺など 坂本亮太
- 熊野地域考古資料調査 2020年2月21日~24日 串本町文化センター、無量寺応挙蘆雪館、弥ノ森城跡、宝泰寺、清水氏館跡、三重県埋蔵文化財センター熊野整理所、小栗須城跡、大栗須城跡、赤木城跡、萬重寺、西光寺墓地、野長瀬一族、横矢一族の墓所など 坂本亮太・北野隆亮・佐藤純一
- 駿府城跡出土遺物観察調査・久能山東照宮博物館調査 2020年2月28日・29日 静岡市駿府城跡発掘調査事務所、久能山東照宮博物館 北野隆亮
- 熊野地域(すさみ町・串本町・古座川町域)の中世石造物・城館調査 2020年3月7日・8日 周参見中山城跡、周参見城跡、虎松山城跡、堤の石塔群、吐生の宝篋印塔、八幡森の宝篋印塔、西川区墓地、伊東氏屋敷跡、山手の宝篋印塔、潤野の五輪塔群など 坂本亮太・北野隆亮・佐藤純一